

2020.4 - 2020.9
コースフロー / コースカリキュラム

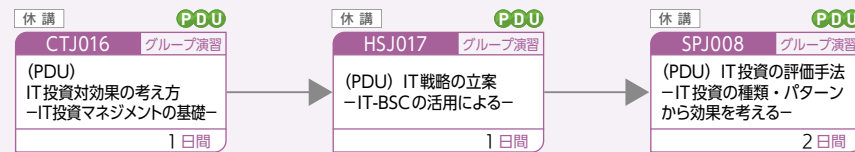
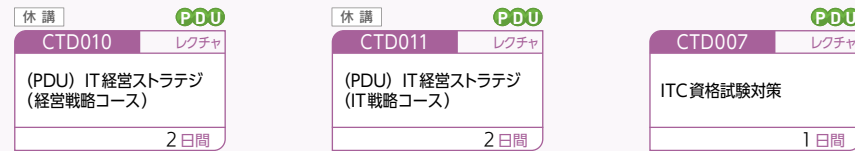
IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、
BA（BusinessAnalysis）に関する
知識や手法が修得できます。

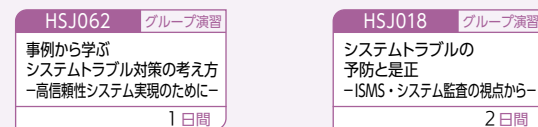
<https://www.hitachi-ac.co.jp/>
日立アカデミーWebサイト

● 経営戦略／IT戦略の立案・強化をお考えの方

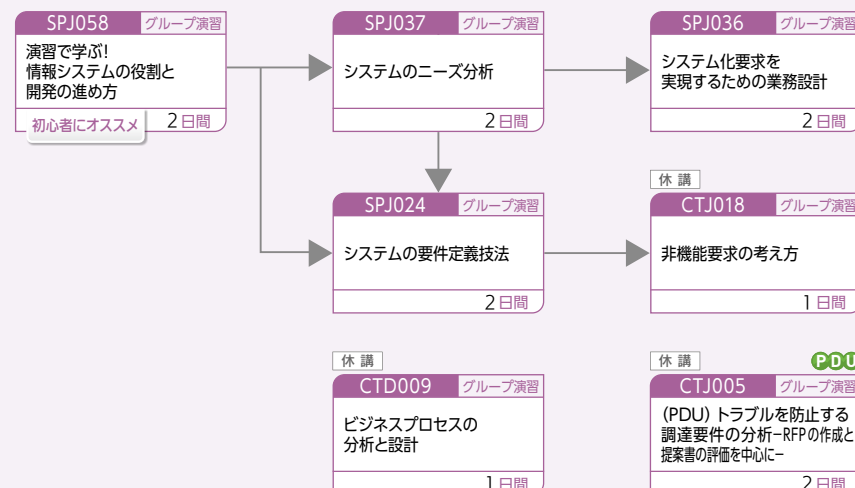
<ITコーディネータ関連コース>



● 内部統制の向上・強化をお考えの方



● システム企画／要件定義に携わる方



音声有+説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

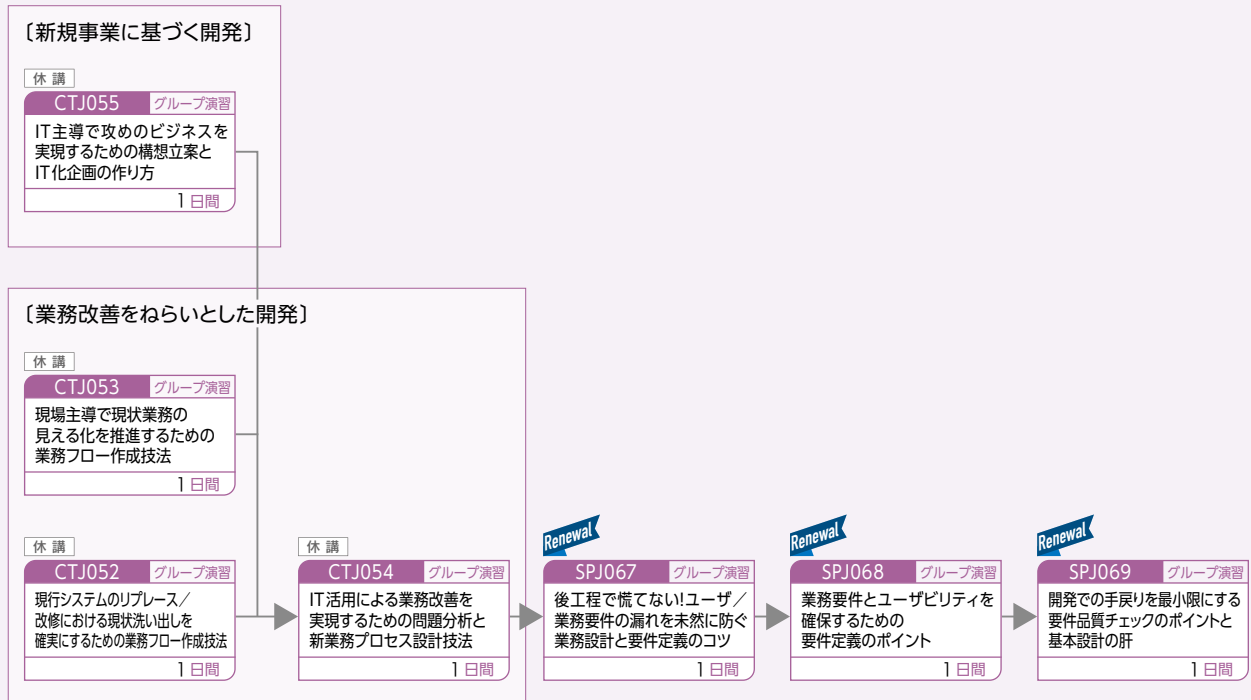
音声有;説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし;説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

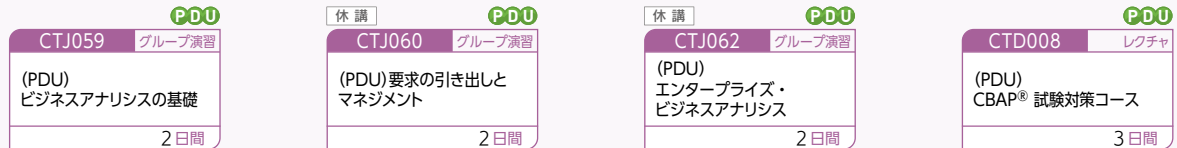
PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● システム企画／要件定義に携わる方（特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け）

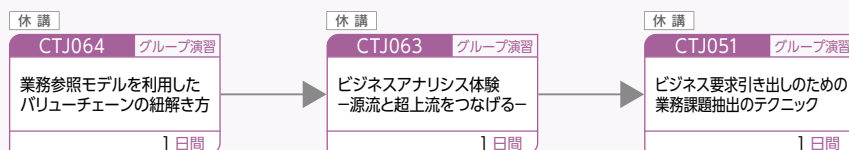


● ビジネスアナリシスに取り組まれる方、関心をお持ちの方

<BABOK 関連コース>



<ビジネスアナリシス方法論：GUTSY-4関連コース>



音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● 情報システム部門でベンダー・マネジメントに携わる方

休講

CTJ046 グループ演習

情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント

1日間

休講

CTJ026 グループ演習

情報システムの利用テストと移行・切替・本番稼働の準備実務

1日間

休講

PDU

CTJ005 グループ演習

(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析-RFPの作成と提案書の評価を中心に

2日間

休講

CTJ022 グループ演習

情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント

2日間

● システムエンジニア (SE) でサブベンダーのマネジメントに携わる方

PDU

CTJ037 グループ演習

(PDU) SEのためのベンダーマネジメント

2日間

● 保守開発に携わる方

SPJ033 グループ演習

保守開発におけるトラブル対策の考え方

1日間

音声有+説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有;説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし;説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修




eラーニング
インターネット接続による自己学習





その他





休講
今期の定期開催はありません


HSJ017	IT戦略・IS企画		
	(PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による- PDU	休講	
1日間			
<p>「ビジネスに役立つIT投資」を実践するために必要となるIT戦略立案プロセスに関する知識や限られた経営資源で最高のITパフォーマンスを引き出す戦略面でのポイントを、講師による解説、ケーススタディ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 6.5ポイント)の取得が可能です。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> IT戦略の基礎知識を理解できる。 経営者が納得するIT企画書を作成できる。 		
対象者	IT戦略立案を担当する方、システム企画を担当する方、システムアナリスト・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。		
前置知識	情報化に関する基礎知識があること。		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今なぜIT戦略なのか <ol style="list-style-type: none"> (1) グラウゼヴィッツの戦略論 (2) 経営トップはIT戦略に何を求めているか (3) IT部門は経営戦略を意識しているか、ほか 2. IT戦略の基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> (1) 全体最適化 (2) 組織体制 (3) 情報化投資ほか 3. ITバランススコアカード(IT-BSC)による戦略マネジメント <ol style="list-style-type: none"> (1) ビジョンと戦略 (2) IT-BSCの標準フレームワーク (3) IT投資マネジメントへの応用ほか 4. 経営者が納得するIT企画書 <ol style="list-style-type: none"> (1) どれだけの費用が発生するのか (2) どれだけの効果が期待できるのか (3) IT投資企画書のフレームワークほか 5. まとめ 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 		
	※このコースは、休講とさせていただきます。		

SPJ008	IT戦略・IS企画		
	(PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類・パターンから 効果を考える- PDU	休講	
2日間			
<p>IT投資に対するユーザ企業の評価は依然として厳しい状況が続いています。このような状況を解決しIT投資を生かすためには、経営陣の積極的な関与はもちろん、IT投資の目標を明確にし、目標に対する費用対効果について適切な評価ができるモデルを構築する必要があります。BSC、IT-BSC、SLMを、演習を通して体験するとともに、IT投資効果を戦略的投資、基盤への投資、保守への投資の観点から把握し、IT投資の評価モデル構築へのアプローチを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 13ポイント)の取得が可能です。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> IT投資の評価モデル構築へのアプローチを理解できる。 IT投資の種類・パターンから見た効果を把握できる。 		
対象者	いかに効果的なIT投資を行うかに心を砕いておられるIT部門/ユーザ部門およびベンダの方、中小企業診断士・システムアナリスト・プロジェクトマネージャの方、またはこれらをめざす方。		
前置知識	情報化に関する基礎知識があること。		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. IT投資の実態と評価の状況 2. 情報化におけるコストの内訳、構造 3. IT投資の種類・パターンからみた効果把握のアプローチ 4. BSC(バランススコアカード)、IT-BSC(ITバランススコアカード)へのアプローチ、演習 5. SLM(サービスペルマナエンス)へのアプローチ、演習 6. IT投資評価モデル構築へのアプローチ 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 		
	※このコースは、休講とさせていただきます。		

CTJ016	IT戦略・IS企画		
	(PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎- PDU	休講	
1日間			
<p>IT投資の提案者や評価者が身につけておきたいIT投資マネジメントに関する実践的スキルを、講師による解説、グループ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 6ポイント)の取得が可能です。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 我が国のIT投資マネジメントの現状を再確認できる。 IT投資マネジメントが抱える課題とそれを解決する各種方法論を理解できる。 IT投資マネジメントシステムの構築手順を理解できる。 		
対象者	ITプロジェクトの提案及び評価を担当する方、および候補の方。または興味をお持ちの方。		
前置知識	情報化に関する基礎知識があること。		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今なぜIT投資マネジメントなのか <ol style="list-style-type: none"> (1) 我が国のIT投資を取り巻く環境 (2) IT投資マネジメントが抱える課題 2. IT投資マネジメント概論 <ol style="list-style-type: none"> (1) IT投資マネジメントに関するガイドライン (2) ITIM成熟度モデル 3. IT投資マネジメントシステムを構築する <ol style="list-style-type: none"> (1) IT投資マネジメントプロセス (2) ITバランススコアカード (3) ITプロジェクトの費用対効果分析 (4) IT投資ポートフォリオモデル 4. まとめ 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 		
	※このコースは、休講とさせていただきます。		

CTJ005	IT戦略・IS企画		
	(PDU) トラブルを防止する 調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に- PDU	休講	
2日間			
<p>情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。システム要件を的確に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 12ポイント)の取得が可能です。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。 信頼性の高いIT契約を締結できる。 		
対象者	情報システム部門でシステム企画/調達を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。		
前置知識	情報化に関する基礎知識があること。		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. IT調達が抱える課題と調達要件分析の重要性 2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン 3. 要件を的確に伝えるRFP(提案依頼書) <ol style="list-style-type: none"> (1) 演習: 新システム導入に関するRFP検討 4. 合理的な提案書評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 演習: ベンダからの提案書評価 5. 信頼性を向上させるIT契約書 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 		
	※このコースは、休講とさせていただきます。		

SPJ033	IT戦略・IS企画		
	保守開発における トラブル対策の考え方	休講	
1日間			
<p>既存システムの修正や改良といった「保守開発」におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイントを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 保守開発の現状と課題が説明できる。 保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。 保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析及対策立案を実践できる。 		
対象者	プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。		
前置知識	情報化に関する基礎知識があること。		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか <ol style="list-style-type: none"> (1) 保守開発の現状 (2) 保守開発プロセスが抱える課題 2. 保守開発マネジメント概論 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保守開発に関連するガイドライン (2) トラブル防止に向けた取り組み 3. 保守開発プロセスの改革提言 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保守開発段階での品質管理とは (2) 保守開発計画と工数見積りのレベラップ (3) 開発環境とテスト環境の強化ポイント 4. 保守開発トラブルのマネジメント <ol style="list-style-type: none"> (1) トラブル関連情報の収集と傾向分析 (2) ヒューマンファクタ分析の応用 演習: 保守開発におけるトラブルの事例研究 5. まとめ 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 講師: 前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋 雅夫氏(公認システム監査人) このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 		

CTD010	IT戦略・IS企画		
	(PDU) IT経営戦略 (経営戦略コース) PDU	休講	
2日間			
<p>IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3.1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。※IT戦略、IT活用プロセスについては、別コースの【IT経営戦略(IT戦略コース)】で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 16ポイント)の取得が可能です。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。 経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。 		
対象者	<ul style="list-style-type: none"> IT提案に経営者視点を加味したい方。 IT戦略の前工程を学びたい方。 経営企画業務に携わる方。 経営改革または業務改革を提案する方。 		
前置知識	特に必要としません。		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. IT経営推進プロセス ガイドラインの理解 2. 変革認識プロセスの理解 3. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。 このコースは、パーソラーニング株式会社との提携コースのため、パーソラーニング株式会社で開催します。 コース実施に必要な受講者の個人情報をパーソラーニング株式会社へ提供いたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 		
	※このコースは、休講とさせていただきます。		

CTD011	IT戦略・IS企画	
	(PDU) IT経営ストラテジ (IT戦略コース) PDU	休講
2日間		
<p>IT経営推進のマネジメントプロセスとして、IT経営実現領域の「IT戦略プロセス」および「IT活用プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域のITサービスやIT活用のための戦略を立て、実行を評価する「IT戦略プロセス」と、具体的なIT活用実現に向けた活動である「IT活用プロセス」の重要性を理解します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3.1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。※経営戦略の策定・実行・評価を行う経営戦略プロセスについては、別コースの「IT経営ストラテジ(経営戦略コース)」で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:16ポイント)の取得が可能です。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> IT化が経営戦略に基づくものであることを理解できる。 ITユーザー企業視点に基づいたIT戦略およびIT活用に関するポイントを理解できる。 	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> IT提案にユーザー企業視点を加味したい方。 IT導入・利活用の前工程を学びたい方。 IT企画業務に携わる方。 ITユーザー企業へIT戦略を提案する方。 	
前置知識	特に必要としません。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. IT経営推進プロセス ガイドラインの理解 2. 経営戦略プロセスの理解 (一部、業務改革プロセスを含む) 3. IT戦略プロセスの理解 4. IT活用プロセスの理解 5. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。 このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社が開催します。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 	
	※このコースは、休講とさせていただきます。	


CTD007	IT戦略・IS企画	
	ITC資格試験対策 PDU	
1日間		
<p>このコースはITC資格試験に合格するための対策コースで、「出題される箇所」「出題される理由」「具体的な対策方法」を中心に、いかにITCプロセスを要領良く理解し、いかに効率的に対策すれば良いかを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:8ポイント)の取得が可能です。</p>		
到達目標	ITC試験合格に必要なプロセスガイドラインを本質的に理解し説明できる。	
対象者	ITC試験を受験予定の方。	
前置知識	特に必要としません。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ITC試験の傾向と対策 2. IT経営プロセス全体概要 3. IT経営認識プロセス 4. IT経営共通プロセス 5. 上流(経営戦略・IT戦略) 6. 下流(IT調達・IT導入・ITサービス活用) 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。 このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社が開催します。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。 解説・演習問題確認を繰り返しわかりやすく学習します。 このコースは、2011年に発行されました「ITCプロセスガイドラインVer.2.0(2011年8月31日発行)」版に対応しています。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 	


CTJ059	IT戦略・IS企画	
	(PDU) ビジネスアナリシスの基礎 PDU	
2日間		
<p>このコースでは、ビジネス分析機能の概要とビジネスアナリストの役割について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:14ポイント)の取得が可能です。</p>		
到達目標	ビジネス分析とは何か、なぜ重要かを説明できる。	
対象者	ビジネスアナリシスの分野に取り組もうとする方。	
前置知識	特に必要としません。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスアナリシスの基本 ビジネスアナリストとは 2. ビジネスニーズの定義 ビジネス・ニーズとは 3. 要求マネジメント 要求マネジメントとは 4. ベネフィット・マネジメント ベネフィット・マネジメントとは 5. エンタープライズ・アナリシス エンタープライズ・アナリシス・モデル 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 計算用具(電卓)をご持参ください。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 	


CTJ060	IT戦略・IS企画	
	(PDU) 要求の引き出しとマネジメント PDU	休講
2日間		
<p>このコースでは、要求事項の分析と文書化に関するビジネスアナリストの役割の紹介とともに、その領域において必要とされるコア知識及びスキルを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:14ポイント)の取得が可能です。</p>		
到達目標	要求事項の分析と文書化に関するビジネスアナリストの役割の紹介を行うとともに、その領域において必要とされるコア知識およびスキルを理解し、実践できる。	
対象者	ビジネスアナリシスの知識を習熟、あるいはアップデートしたいとお考えの方。	
前置知識	ビジネスアナリシスに関する基本的な知識があること。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソリューション・スコープの妥当性確認 目標とスコープの妥当性確認 2. 協働による要求の引き出し 要求マネジメント・プロセス 3. 要求マネジメント モデルとは?なぜ使うか?いつ何をモデル化するのか? 4. 要求の文書化と伝達 要求リポーター 5. 要求の妥当性確認 ソリューションの妥当性確認と検証 6. 要求のコントロール 要求変更管理 7. ビジネスアナリシス計画 要求計画の重要性 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 	
	※このコースは、休講とさせていただきます。	


CTJ062	IT戦略・IS企画	
	(PDU) エンタープライズ・ビジネスアナリシス PDU	休講
2日間		
<p>このコースでは、どのようにして企業規模での複雑性や変革にビジネスアナリシスを用いるのかを学習します。具体的には、エンタープライズ分析とは?といった基本から始めたうえで、ディスカッションを通して、それがどのように投資戦略や変革対応に役立つのか、さまざまなアーキテクチャ(情報、アプリケーション、テクノロジー、ガバナンス)、ビジネス・アーキテクチャのブループリントとフレームワークを踏まえたビジネス・アーキテクチャとエンタープライズ・アーキテクチャの関係について理解します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:15ポイント)の取得が可能です。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 企業におけるビジネスアナリシスを説明できる。 企業の構成要素をモデル化し、それらがどのように働くかを説明できる。 戦略を形成するために必要となる顧客価値を特定することができる。 エンタープライズ分析を通して、どのように組織の人と資産の有効性を強化することができるかを説明できる。 	
対象者	ビジネスアナリシスの分野に関心のある方。	
前置知識	ビジネスアナリシスに関する基本的な知識、一般的な戦略論に関する知識があること。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンタープライズ・ビジネスアナリシス 2. ビジネスアーキテクチャ 3. 価値マッピング 4. ビジネスモデルからビジネス・ブループリントへ 5. ビジネスプロセス管理 6. 組織マップ 7. エンタープライズ・アーキテクチャの作成 8. ケイビリティ・マップ 9. エンタープライズ・プロセス・ソリューション 10. 組織学習 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 	
	※このコースは、休講とさせていただきます。	


CTD008	IT戦略・IS企画	
	(PDU) CBAP® 試験対策コース PDU	
3日間		
<p>CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA (International Institute of Business Analysis)が認定する資格で唯一日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:24ポイント)の取得が可能です。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。 現状知識の強いエリア・弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。 CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる 	
対象者	CBAP®資格取得をめざす方。	
前置知識	BABOK®の基礎知識を修得していること。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 試験概要/受験申請手続き 2. 基本概念 3. 計画と監視 4. 引き出しとコラボレーション 5. 戦略アナリシス 6. 要求分析とデザイン定義 7. ソリューション評価 8. 基礎コンピテンシー 9. 要求ライフサイクル管理 10. パースペクティブ 11. 150問模擬試験/解答解説 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 【持参品】事前に「BABOK®ビジネスアナリシス知識体系ガイドV3」をご購入のうえ、当日ご持参ください。 このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。 PMI®、PMP®、PMBOK® ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 	
	※別途ご案内いたします。	


CTJ046	IT戦略・IS企画
	情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント 休講
1日間	
要件定義とベンダー折衝を通して、情報システム導入を成功に導く方法論を解説します。特にパッケージ・システム導入を事例として、各種のチェックリストや問題解決技法のテンプレート使用して具体的な進め方を修得します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 要件定義作業の進め方、ベンダ提示資料の検討の方法について説明できる。 社内手続、業務改善・管理基準・ルールの改定と整理ができる。 要件定義作業成果物の不安、未了および不確定の扱いについて検討できる。
対象者	企業内の情報システム部門で情報システム導入に携わる方。
前置知識	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの開発に携わった経験があること。 これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 要件定義とは 作業充実の要点とリスク回避 要件定義作業とユーザ対応 検討作業と整理技法 要件定義の事例 ユーザ資料の作成要領 まとめ
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、機能要件の明確化と委託先との交渉に関する実務を中心に扱っており、クラウドサービスの非機能要件については扱っていません。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
※このコースは、休講とさせていただきます。	


CTJ026	IT戦略・IS企画
	情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務 休講
1日間	
情報システム部門が情報システム導入時に安定稼働を保证する条件は、「新規システムの品質確保」と「移行処理・切替作業の確実な実施」および「社内準備のミスのない実行」にあります。このコースでは、情報システム導入時に情報システム部門が社内に対して行う安定稼働を保证するための作業である、ユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備の実務について学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> システムの品質保証、問題の管理と解決、移行処理、切替作業の概要を説明できる。 社内外への必要情報の提示、教育研修とマニュアルが作成できる。 業務改善、管理基準の変更および運用に関するドキュメントが作成できる。
対象者	企業内の情報システム部門で情報システムのユーザテスト・移行・切替・本番稼働の準備に携わる方。
前置知識	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの開発に携わった経験があること。 これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 万全な準備の対象 ベンダテストの限界とユーザ関与 品質を保证するユーザテスト 移行処理とその対応策 切替作業の方法と成功要因 安定稼働のための社内準備 まとめ
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
※このコースは、休講とさせていただきます。	


CTJ022	IT戦略・IS企画
	情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント 休講
2日間	
外部委託先がシステム開発プロジェクトに参画した段階からの、開発工程におけるベンダー・マネジメントの基礎知識を学習します。プロジェクトのリスクとトラブルを予防し、問題やその兆候を早期に発見し、委託先と協調しながら、現実的かつ確実に課題の解決を図るための方策を修得します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> システム開発プロジェクトのベンダー・マネジメントにおける進捗管理・品質管理・リスク管理・変更管理・コスト管理の特性を説明できる。 現状把握、進捗管理、問題解決に向けた有効な質問と聞き取りができる。 自身の責任範囲を理解したうえで自社内への問題解決行動の候補を案出できる(折衝/上位者からの交渉/エスカレーション等)のべき行動の判断。 委託先との協調、連携作業を意識した自発的コミュニケーションができる。
対象者	企業内の情報システム部門で外部委託先(ベンダー)と連携してシステム開発に携わる方。
前置知識	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの開発に携わった経験があること。 これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> イントロダクション 要求とは何か 契約と委託内容 コミュニケーションのマネジメント 品質管理とリスク管理 <ol style="list-style-type: none"> 委託先の作業計画の確認 進捗管理 <ol style="list-style-type: none"> 現状把握 予定と実績の差異確認 問題への対応 変更管理 まとめ
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
※このコースは、休講とさせていただきます。	


CTJ037	IT戦略・IS企画
	(PDU)SEのためのベンダーマネジメント PDU 休講
2日間	
このコースでは、調達方針を踏まえ、SEがサブベンダーを取り纏める際のVMについて、開発プロジェクトの現場でサブベンダーの作業実態を把握し、作業進捗管理とリスクマネジメントを遂行する方法を修得します。SEがサブベンダーを取り纏める際の、VMのための「プロジェクト実施方法の合意」「VM計画と問題解決プロセスの共有」「VM実行・監視コントロール」の具体業を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ベンダーマネジメント(VM)の基本枠組みを説明できる。 実際のVM状況の改善策の実務検討ができる。 ベンダーの問題解決行動を判断、評価する方法を説明できる。
対象者	外部委託先を使って顧客向けシステムを開発するSEの方。
前置知識	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの開発に携わった経験があること。 これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> プロジェクト合意 <ol style="list-style-type: none"> プロジェクトで開発するプロダクト、サービス、文書 主要マイルストーン 前提条件の共有 リスク要因の共有 契約文書の理解 ベンダー責任の明確化 VM計画と問題解決プロセス共有 <ol style="list-style-type: none"> プロジェクト計画の確認 役割と責任の確認 進捗管理方法の共有 問題解決プロセスの共有 リスクマネジメントプロセスの共有 問題解決プロセスの運用方法の共有 ベンダーとのコミュニケーションプランの共有 VM実行・監視コントロール・終結 <ol style="list-style-type: none"> ベースラインの確認 ベンダーの進捗報告コントロール 双方でのリスクコントロール 変更コントロール 終結のコントロール
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。


CTJ054	IT戦略・IS企画
	IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 休講
1日間	
組織の生産性向上を実現するためにはITを活用した業務改善が重要になります。しかし、とまれば既存業務の在り方に引張りされてしまい単なる現状の焼き直しに留まり期待したほどの成果を得られないケースも度々です。本当に取り組むべき問題をどのようにして発見しIT化によって解決するかの考え方について、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 問題構造分析について説明できる。 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。
対象者	取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわからないITエンジニアの方。
前置知識	5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 業務改善とは何か? 問題構造分析と真の問題 ITと業務プロセスの関係 新しいプロセスのつくり方 IT化における要件
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで-」と同等の内容を含みます。
※このコースは、休講とさせていただきます。	


CTJ055	IT戦略・IS企画
	IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 休講
1日間	
デジタルイノベーション・AI・IoT...など、ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスモデルを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めれば良いのかを、その最重要ポイントに絞って、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ITの真の価値について説明できる。 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。
対象者	取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわからないITエンジニアの方。
前置知識	5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。
内容	<ol style="list-style-type: none"> IT化と従来のシステム化の違い 企画とは何か? 顧客と本業とビジネスモデル 顧客の真のニーズとToBe設計 カスタマー・エクスペリエンスとIT サービスデザインとIT IT化とデジタル化の違い
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで-」および「ビジネス視点からのITサービスデザインの進め方」と同等の内容を含みます。
※このコースは、休講とさせていただきます。	

CTJ053	IT戦略・IS企画	休講
	現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法	
1日間		
IT化に限らず現状業務の改善を推進するには現行業務の見える化が不可欠です。現場担当者が前向きになり、かつ割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の構造について説明できる。 ・業務フローの作成方法について説明できる。 	
対象者	取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっているITエンジニアの方。	
前提知識	3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. どうして業務改善が難しいのか 2. 業務の構造 3. 見える化が難しい理由 4. 業務フロー作成技法 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方-書かせ方-」と同等の内容を含みます。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。</p>	

CTJ052	IT戦略・IS企画	休講
	現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法	
1日間		
昨今のレガシーマイグレーションやモダン化のような既存システムの改修・高度化における難関は現状の利用実態を把握しきらず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。ともしばどキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現行システムの洗い出し方法を説明できる。 ・業務の構造について説明できる。 ・業務フローの作成方法について説明できる。 	
対象者	取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっているITエンジニアの方。	
前提知識	3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現行システム調査の観点 2. ユーザが期待するもの 3. 業務フロー作成が難しい理由と業務の構造 4. 業務フロー作成技法 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方-書かせ方-」と同等の内容を含みます。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。</p>	

CTJ064	IT戦略・IS企画	休講
	業務参照モデルを利用したバリューチェーンの紐解き方	
1日間		
グローバル標準のプロセス参照モデルであるSCOR(※1)をベースにしたGUTSY-4(※2)の業務参照モデルを利用して、モデル企業を分析する演習を行います。この演習を通して、事業のバリューチェーンを捉える上で必要となる企業活動の基本(調達、受注・出荷、在庫管理、生産管理)を学習します。		
※1: supply-chain operations reference-model ※2: Grand Unified Theory Synchronizing 4 models		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・業務参照モデルにおけるプロセスの階層を説明できる。 ・業務参照モデルにおける論理的な業務機能を説明できる。 ・業務参照モデルの業務フローを説明できる。 ・業務参照モデルの活用方法を説明できる。 	
対象者	企業の業務プロセスを学びたい方。	
前提知識	特に必要としません。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) バリューチェーン (2) バリューチェーンプロセスとプロセス参照モデル (3) 業務参照モデルの個別企業への適用の仕方 2. 調達業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) 調達とは/調達プロセスフロー (2) 仕入先 (3) 業議・承認 (4) 見積・購買依頼・発注、受入・検査、仕入計上、消費税処理、支払条件、取引基本契約 (5) 購買業務用語 3. 受注・出荷業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) 受注とは/受注・出荷プロセスフロー (2) 顧客 (3) 与信管理 (4) 有効在庫数量、引当 (5) 出荷作業、配車・配送、売上計上、取引基本契約 (6) 受注・出荷業務用語 4. 在庫管理業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) 在庫管理とは (2) ロット管理、シリアル管理、在庫評価方法の種類 (3) 棚卸、VMI、在庫補充、ABC分析 (4) 在庫管理業務用語 5. 生産管理業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生産管理とは/製造オーダの流れ (2) 資材所要量計算 (3) 生産方式の種類 (4) 生産プロセスフロー (5) 生産管理業務用語 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。</p>	

CTJ063	IT戦略・IS企画	休講
	ビジネスアナリシス体験 -源流と超上流をつなげる-	
1日間		
モデル企業のケーススタディを通じてビジネスアナリシスの源流を体感し、GUTSY-4(※1)の業務参照モデルを含む顧客提案のフレームワークとビジネスアナリシスにおける要求の種類とその関係を学習します。		
※1: Grand Unified Theory Synchronizing 4 models		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスアナリシスにおける要求の種類とその関係を説明できる。 ・自身の従事している業務とビジネスアナリシスとの関係を説明できる。 	
対象者	提案力を高めたいITエンジニアの方。	
前提知識	特に必要としません。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業界特性分析 2. SWOT分析 3. 重要成功要因の優先順位づけ 4. 戦略課題の業務分解 5. IT成熟度評価 6. アクションプラン 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。</p>	

CTJ051	IT戦略・IS企画	休講
	ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック	
1日間		
工場系・営業系・管理系・SCM系に関する、質問によるMECEな業務課題の引き出し方、主要課題一覧表の作成と確認方法を学習します。		
到達目標	企業の全ての業務機能に対して、MECEな質問により業務改革に位置するハイレベルの業務課題を引き出すことができる。	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ITエンジニア職の若手・中堅の方で、BABOKガイド程度の知識はあるがビジネスアナリシスの実践に不安を抱えている方。 ・ITエンジニア職の若手・中堅の方で、実践において適切な上位者の指導が必要な方。 	
前提知識	「(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスアナリシス方法論GUTSY-4の概論 2. 業務課題インタビューシートの作成方法 3. 主要課題一覧表の作成方法 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。</p>	

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名 古 屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>